

Medicinal Chemistry

2 units alternate-year(1st semester)

Akira Otaka(Manager) · PROFESSOR / PHARMACEUTICAL CHEMISTRY, Hisao Nemoto · ASSOCIATE PROFESSOR / PHARMACEUTICAL CHEMISTRY

Target) 生体を化学を利用して理解する上で必要な有機化学について基礎知識を身につけさせる。

Outline) 近年、化学を利用して生命を理解しようとする学問分野“Chemical Biology”が非常に注目を集めています。生体现象を化学的に理解するための基礎知識としてのアミノ酸、ペプチド、タンパク質化学および創薬を支援する機能分子について解説します。

Notice) e-learning 化には対応していない

Schedule)

1. Chemical Biology 入門 (担当者: 大高 章)
2. Chemical Biology 入門 (担当者: 大高 章)
3. アミノ酸の化学 (担当者: 大高 章)
4. ペプチド・タンパク質化学 (担当者: 大高 章)
5. ペプチド・タンパク質化学 (担当者: 大高 章)
6. ペプチド・タンパク質を作る (担当者: 大高 章)
7. ペプチド・タンパク質を使う (担当者: 大高 章)
8. ペプチド・タンパク質を使う (担当者: 大高 章)
9. Forward Chemical Genetics (担当者: 大高 章)
10. Reverse Chemical Genetics (担当者: 大高 章)
11. 酵素化学 (担当者: 大高 章)
12. 創薬支援分子 (担当者: 根本 尚夫)
13. 創薬支援分子 (担当者: 根本 尚夫)
14. 創薬支援分子 (担当者: 根本 尚夫)
15. 創薬支援分子 (担当者: 根本 尚夫)

Evaluation Criteria) 出席状況とレポート

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217087>

Contact)

⇒ Otaka (aotaka@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: いつでも結構です)

⇒ Nemoto (+81-88-633-7284, nem@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: いつでも結構です)

Note)

- ◇ 随時プリントなどを配布
- ◇ 平成 23 年度開講